

## 茨城県公立学校教員選考試験 養護教諭

### 注意事項

- 解答用紙には、解答欄以外に次の記入欄があるので、それぞれ正しく記入し、マークしなさい。
  - 氏名欄  
氏名、校種・職種、教科・科目（中・高のみ）を記入しなさい。
  - 受験番号欄  
受験番号（6桁の数字）を記入し、さらにその下のマーク欄にマークしなさい。  
正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。
- この問題冊子は31ページあります。問題は50問あります。試験時間は90分です。
- 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 解答は、解答用紙の解答欄にマークしなさい。例えば、[10]と表示のある問題に対して、aと解答する場合は、次の（例）のように解答番号10の解答欄のaにマークしなさい。

（例）

解答番号	解答欄	解答番号	解答欄
10	(a) (b) (c) (d) (e)	10	(a) (b) (c) (d) (e)

- 問題冊子の余白等は適宜利用して構いませんが、どのページも切り離してはいけません。
- 終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

第1問 次の1～3の問いに答えなさい。

1 次の文は、「学校教育法(昭和二十二年三月二十九日法律第二十六号)」の条文の一部を抜粋したものである。各文の(①)～(⑥)に当てはまる語句の正しい組み合わせを、下のa～eの中からそれぞれ一つ選びなさい。ただし、( )の同じ番号には同じ語句が入るものとする。

第二十二條 幼稚園は(①)及びその後の教育の基礎を培うものとして、幼児を(②)し、幼児の健全やかな成長のために適当な(③)を与えて、その(④)を助長することを目的とする。

第二十九條 小学校は、(④)に応じて、(①)として行われる(⑤)のうち(⑥)なものを施すことを目的とする。

[1]

	①	②	③
a	義務教育	養護	教具
b	義務教育	保育	環境
c	義務教育	保育	教具
d	社会教育	保育	環境
e	社会教育	養護	教具

[2]

	④	⑤	⑥
a	心身の発達	初等中等教育	総合的
b	心身の発達	普通教育	総合的
c	能力	初等中等教育	基礎的
d	心身の発達	普通教育	基礎的
e	能力	普通教育	総合的

2 次の文は、「学校保健安全法（昭和三十三年四月十日法律第五十六号）」の条文の一部を抜粋したものである  
文中の（ ① ）～（ ③ ）に当てはまる語句の正しい組み合わせを、下のa～eの中から一つ選びなさい。  
ただし、（ ）の同じ番号には同じ語句が入るものとする。

第八条 学校においては、児童生徒等の心身の健康に関し、（ ① ）を行うものとする。

第九条 養護教諭その他の職員は、相互に連携して、（ ① ）又は児童生徒等の健康状態の（ ② ）な観察  
により、児童生徒等の心身の状況を把握し、（ ③ ）の問題があると認めるときは、遅滞なく、当該児童生  
徒等に対して必要な指導を行うとともに、必要に応じ、その保護者（学校教育法第十六条に規定する保護者  
をいう。第二十四条及び第三十条において同じ。）に対して必要な助言を行うものとする。

[3]

	①	②	③
a	健康相談	日常的	健康上
b	健康観察	定期的	健康上
c	健康観察	定期的	発育上
d	健康相談	日常的	発育上
e	保健指導	定期的	健康上

3 次の文は、「学校保健安全法施行規則（昭和三十三年六月十三日文部省令第十八号）」の条文の一部を抜粋したものである。文中の（ ① ）～（ ⑤ ）に当てはまる語句の正しい組み合わせを、下のa～eの中からそれぞれ一つ選びなさい。ただし、（ ）の同じ番号には同じ語句が入るものとする。

第五条 法第十三条第一項の健康診断は、毎学年、六月三十日までに行うものとする。ただし、疾病その他やむを得ない事由によつて当該期日に健康診断を受けることのできなかつた者に対しては、その事由のなくなつた後（ ① ）に健康診断を行うものとする。

2 第一項の健康診断における（ ② ）の有無の検査において（ ② ）発病のおそれがあると診断された者（第六条第三項第四号に該当する者に限る。）については、おおむね六か月の後に再度（ ② ）の有無の検査を行うものとする。

第十一条 法第十三条の健康診断を的確かつ円滑に実施するため、当該健康診断を行うに当たつては、小学校、中学校、高等学校及び（ ③ ）においては全学年において、幼稚園及び（ ④ ）においては必要と認めるときに、あらかじめ児童生徒等の（ ⑤ ）、健康状態等に関する調査を行うものとする。

[4]

	①	②
a	夏季休業期間	結核
b	夏季休業期間	心臓の疾病
c	すみやか	結核
d	すみやか	心臓の疾病
e	すみやか	腎臓の疾病

[5]

	③	④	⑤
a	専修学校	大学	既往歴
b	大学	高等専門学校	発育
c	高等専門学校	専修学校	発育
d	大学	高等専門学校	既往歴
e	高等専門学校	大学	発育

第2問 次の1、2の問いに答えなさい。

1 次の( )の中の文は、「小学校学習指導要領(平成29年告示) 第2章 各教科 第9節 体育 第2各学年の目標及び内容 [第3学年及び第4学年]」の一部を抜粋したものである。文中の( ① )～( ③ )に当てはまる語句の正しい組み合わせを、下のa～eの中から一つ選びなさい。

(2) 体の発育・発達について、課題を見付け、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 体の発育・発達について理解すること。

(ア) 体は、年齢に伴って変化すること。また、体の発育・発達には、( ① )があること。

(イ) 体は、思春期になると次第に大人の体に近づき、体つきが変わったり、初経、( ② )などが起こったりすること。また、異性への関心が芽生えること。

(ウ) 体をよりよく発育・発達させるには、適切な( ③ )、食事、休養及び睡眠が必要であること。

イ 体がよりよく発育・発達するために、課題を見付け、その解決に向けて考え、それを表現すること。

[6]

	①	②	③
a	個人差	精通	運動
b	性差	精通	学習
c	個人差	射精	運動
d	性差	射精	運動
e	個人差	射精	学習

- 2 次の( )の中の文は、「中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 保健体育編(平成29年7月) 第2章 保健体育科の目標及び内容 第2節 各分野の目標及び内容 [保健分野] 2 内容」の一部を抜粋したものである。文中の( ① )～( ⑨ )に当てはまる語句の正しい組み合わせを、下のa～eの中からそれぞれ一つ選びなさい。

(ア) 健康の成り立ちと疾病の発生要因

健康は、主体と環境を良好な状態に保つことにより成り立っていること、また、健康が阻害された状態の一つが疾病であることを理解できるようにする。また、疾病は、主体の要因と環境の要因とが( ① )に関わりながら発生することを理解できるようにする。

その際、主体の要因には、年齢、性、免疫、遺伝などの( ② )と、生後に獲得された運動、食事、休養及び睡眠を含む生活上の様々な習慣や行動などがあることを理解できるようにする。環境の要因には、温度、湿度や有害化学物質などの物理的・化学的環境、ウイルスや細菌などの生物学的環境及び人間関係や保健・医療機関などの( ③ )環境などがあることを理解できるようにする。

(イ) 生活習慣と健康

㉞ 運動と健康

運動には、身体の各器官の( ④ )を刺激し、その発達を促すとともに、気分転換が図られるなど、精神的にもよい効果があることを理解できるようにする。また、健康を保持増進するためには、年齢や生活環境等に応じて運動を続けることが必要であることを理解できるようにする。

㉟ 食生活と健康

食事には、健康な身体をつくるとともに、運動などによって消費されたエネルギーを( ⑤ )する役割があることを理解できるようにする。また、健康を保持増進するためには、毎日( ⑥ )食事をする、年齢や運動量等に応じて栄養素のバランスや食事の量などに配慮することが必要であることを理解できるようにする。

㊱ 休養及び睡眠と健康

休養及び睡眠は、心身の疲労を回復するために必要であること、健康を保持増進するためには、年齢や生活環境等に応じて休養及び睡眠をとる必要があることを理解できるようにする。

その際、長時間の運動、学習、作業などは、疲労をもたらす、その徴候は( ⑦ )の変化として現れること、これらは運動や学習などの( ⑧ )によって、また環境条件や個人によって現れ方に違いがあることについて取り上げ、適切な休養及び睡眠によって疲労を蓄積させないようにすることが大切であることに触れるようにする。

なお、必要に応じて、コンピュータや情報ネットワークなどを長時間使用することによる疲労の現れ方や休憩の取り方など健康との関わりについても取り上げることに配慮するものとする。

㊲ 調和のとれた生活

心身の健康は( ⑨ )と深く関わっており、健康を保持増進するためには、年齢、生活環境等に応じた適切な運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続けることが必要であることを理解できるようにする。

[7]

	①	②	③
a	同時	体質	心理的
b	相互	素因	社会的
c	同時	素因	心理的
d	相互	体質	社会的
e	相互	素因	心理的

[8]

	④	⑤	⑥
a	細胞	補給	適切な量の
b	機能	活性化	適切な量の
c	細胞	補給	適切な時間に
d	機能	補給	適切な時間に
e	細胞	活性化	適切な時間に

[9]

	⑦	⑧	⑨
a	体力	量と質	習慣
b	体力	総量	生活習慣
c	心身の状態	量と質	生活習慣
d	心身の状態	総量	習慣
e	心身の状態	総量	生活習慣

第3問 次の1～3の問いに答えなさい。

1 次の（ ）の中の文は、「改訂6版 救急蘇生法の指針2020（市民用）〔2021年9月 日本救急医療財団心肺蘇生法委員会 監修〕 V 一次救命処置 2. 人工呼吸の手順」の一部を抜粋したものである。次の(1)、(2)の文中の（ ① ）～（ ③ ）に当てはまる語句の正しい組み合わせを、下のa～eの中からそれぞれ一つ選びなさい。

(1)

（ ① ）や溺水による心停止、（ ② ）の心停止や救急隊が到着するまでに時間がかかる場合などでは、（ ③ ）と人工呼吸を組み合わせた心肺蘇生を行うことが強く望まれます。

[10]

	①	②	③
a	失神	高齢者	胸骨圧迫
b	窒息	小児	AED
c	窒息	高齢者	胸骨圧迫
d	窒息	小児	胸骨圧迫
e	失神	高齢者	AED

(2)

（ ① ）の奥を広げ、空気の通り道を確保することを気道確保といいます。片手で傷病者の（ ② ）を押さえながら、もう一方の手の指先を傷病者のあごの先端、骨のある（ ③ ）部分に当てて押し上げます。これにより傷病者の頭部が後屈され、あごがのけぞるような姿勢になります。

[11]

	①	②	③
a	喉	頭頂部	柔らかい
b	肺	額	硬い
c	喉	頭頂部	硬い
d	肺	頭頂部	柔らかい
e	喉	額	硬い



2 次の(1)、(2)の( )の中の文は、「改訂6版 救急蘇生法の指針2020(市民用)[2021年9月 日本救急医療財団心肺蘇生法委員会 監修] V 一次救命処置 3. AED使用の手順」の一部を抜粋したものである。文中の( ① )～( ⑤ )に当てはまる語句の正しい組み合わせを、下のa～eの中からそれぞれ一つ選びなさい。ただし、( )の同じ番号には同じ語句が入るものとする。

(1)

- ・傷病者が汗をかいていたり、水泳や入浴で( ① )が濡れていると、電極パッドがしっかりと貼り付かない。
- ・傷病者の( ① )が濡れていると、電気が体表の水を伝わって流れてしまうために、AEDの効果が十分に発揮されない。
- ・乾いた布やタオルで( ① )を拭いてから電極パッドを貼り付ける。
- ・( ② )が濡れたままでも問題はない。

[12]

	①	②
a	胸	床
b	胸	服
c	背中	床
d	腹部	服
e	腹部	床

(2)

- ・電極パッドを貼り付ける位置に湿布薬や貼り薬などがある場合には、まずこれらを( ③ )。
- ・貼り薬の上から電極パッドを貼り付けると電気ショックの効果が弱まったり、貼り付け部位に( ④ )を起こすことがある。
- ・皮膚の下に心臓ペースメカや除細動器を植え込む手術を受けている傷病者では、胸に硬いこぶのような出っ張りがある。
- ・貼り付け部位にこの出っ張りがある場合、電極パッドは出っ張り( ⑤ )貼り付ける。

[13]

	③	④	⑤
a	はがす	擦過傷	を避けて
b	はがす	やけど	を避けて
c	はがす	やけど	の上から
d	避けて貼り付ける	やけど	の上から
e	避けて貼り付ける	擦過傷	を避けて

3 次の(1)、(2)の( )の中の文は、「赤十字救急法講習教本(15版)(令和4年4月 日本赤十字社)第2章 急病 10 けいれん」、「同、第4章 止血 2 止血法の種類と止血の理論 (5) その他の出血の手当 ①鼻出血」の一部を抜粋したものである。文中の( ① )～( ⑧ )に当てはまる語句の正しい組み合わせを、下のa～eの中からそれぞれ一つ選びなさい。

(1) けいれん

- ・衣服を緩め、楽に呼吸ができるようにします。
- ・分泌物やおう吐物で窒息の恐れがあるときには、( ① )もしくは顔を横に向けて気道を確保します。
- ・発作時には倒れて体を強く打つことが多いので、全身、特に( ② )を打っていないかよく調べます。
- ・保温します。
- ・けいれんの発作中、奥歯の間に割り箸、手拭などを( ③ )。
- ・名前を呼んだり、ゆり動かして刺激を加えたり、( ④ )。

[14]

	①	②	③	④
a	回復体位	顔	入れます	無理に押さえつけたりしません
b	起座位	顔	入れることは避けます	押さえつけたりします
c	回復体位	頭	入れることは避けます	押さえつけたりします
d	起座位	頭	入れます	押さえつけたりします
e	回復体位	頭	入れることは避けます	無理に押さえつけたりしません

(2) 鼻出血

- ・座って軽く( ⑤ )を向き、鼻を強くつまみます。
- ・( ⑥ )から鼻の部分を冷やし、ネクタイなどはゆるめ、静かに( ⑦ )おきます。
- ・( ⑧ )を切って軽く鼻孔に詰め、鼻を強くつまみます。
- ・出血が止まっても、すぐに鼻をかんではいけません。
- ・このような手当てで止まらない場合は、もっと深い部分からの出血を考えて、医師の診察を受けさせます。

[15]

	⑤	⑥	⑦	⑧
a	下	額	寝かせて	脱脂綿
b	上	頬	座らせて	ガゼ
c	下	額	座らせて	ガゼ
d	下	頬	寝かせて	ガゼ
e	上	頬	座らせて	脱脂綿

第4問 次の1、2の問いに答えなさい。

1 次の（ ）の中の文は、「学校保健安全法施行規則（昭和三十二年六月十三日文部省令第十八号）」に記載されている就学時の健康診断の方法及び技術的基準についての条文を抜粋したものである。文中の（ ① ）～（ ⑨ ）に当てはまる語句の正しい組み合わせを、下のa～eの中からそれぞれ一つ選びなさい。

第三条 法第十一条の健康診断の方法及び技術的基準は、次の各号に掲げる検査の項目につき、当該各号に定めるとおりとする。

一 栄養状態は、皮膚の色沢、皮下脂肪の充実、筋骨の発達、（ ① ）等について検査し、栄養不良又は肥満傾向で特に注意を要する者の発見につとめる。

二 脊柱の疾病及び異常の有無は、形態等について検査し、（ ② ）等に注意する。

三 胸郭の異常の有無は、形態及び（ ③ ）について検査する。

四 視力は、（ ④ ）に準拠した視力表を用いて左右各別に裸眼視力を検査し、眼鏡を使用している者については、当該眼鏡を使用している場合の矯正視力についても検査する。

五 聴力は、（ ⑤ ）を用いて検査し、左右各別に聴力障害の有無を明らかにする。

六 眼の疾病及び異常の有無は、感染性眼疾患その他の外眼部疾患及び（ ⑥ ）の異常等に注意する。

七 耳鼻咽喉頭疾患の有無は、耳疾患、鼻・副鼻腔疾患、口腔咽喉頭疾患及び（ ⑦ ）異常等に注意する。

八 皮膚疾患の有無は、（ ⑧ ）、アレルギー疾患等による皮膚の状態に注意する。

九 歯及び口腔の疾病及び異常の有無は、齲歯、（ ⑨ ）、不正咬合その他の疾病及び異常について検査する。

十 その他の疾病及び異常の有無は、知能及び呼吸器、循環器、消化器、神経系等について検査するものとし、知能については適切な検査によつて知的障害の発見につとめ、呼吸器、循環器、消化器、神経系等については臨床医学的検査その他の検査によつて結核疾患、心臓疾患、腎臓疾患、ヘルニア、言語障害、精神神経症その他の精神障害、骨、関節の異常及び四肢運動障害等の発見につとめる。

[16]

	①	②	③
a	貧血の有無	側わん症	発育
b	血圧	側わん症	機能
c	貧血の有無	脊柱管狭窄症	機能
d	血圧	脊柱管狭窄症	発育
e	貧血の有無	脊柱管狭窄症	発育

[17]

	④	⑤	⑥
a	J I S規格	パルスオキシメタ	眼位
b	国際標準	パルスオキシメタ	視野
c	国際標準	オジオメタ	眼位
d	J I S規格	オジオメタ	視野
e	J I S規格	オジオメタ	眼位

[18]

	⑦	⑧	⑨
a	嚥下	感染性皮膚疾患	歯周疾患
b	音声言語	感染性皮膚疾患	歯周疾患
c	嚥下	感染性皮膚疾患	顎関節症状
d	音声言語	先天性皮膚疾患	歯周疾患
e	音声言語	先天性皮膚疾患	顎関節症状

2 次の（ ）の中の文は、「児童生徒等の健康診断マニュアル 平成27年度改訂（文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課 監修 公益財団法人 日本学校保健会） 第1章 児童、生徒、学生及び幼児の健康診断の実施 5 方法及び技術的基準 10 歯及び口腔の疾病及び異常の有無」の一部を抜粋したものである。文中の（ ① ）～（ ⑨ ）に当てはまる語句の正しい組み合わせを、下のa～eの中からそれぞれ一つ選びなさい。ただし、（ ）の同じ番号には同じ語句が入るものとする。

事後措置

検査終了後、保健指導、健康相談、要観察（要観察歯（ ① ）、歯周疾患要観察者（ ② ））及び疾病を有する者への個別指導、（ ③ ）を勧める。

1 個別の保健指導

口腔に何らかの問題のある児童生徒等については、（ ④ ）を認識させ、学校歯科医や地域医療機関との連携を取り、保健指導を行う。

2 経過観察

① 要観察歯（ ① ）の観察と対応

要観察歯（ ① ）とは、放置すると（ ⑤ ）に移行するリスクのある歯である。そのため、学校歯科医による健康相談、臨時的（ ⑥ ）を行うことが望ましい。また、地域の医療機関（かかりつけ歯科医等）の専門家による継続的な管理、フッ化物の歯面塗布等の予防処置によって（ ⑦ ）の抵抗性を高めていくことも考えられる。

\*（ ① ）要相談は、隣接面や修復物下部に着色変化の見られる場合、及び（ ⑤ ）の初期病変の状態が（ ⑧ ）認められる場合が該当する。

学校歯科医の所見欄に〔 ① 〕要相談と記載し、（ ③ ）を勧める。

留意事項

1 （ ⑨ ）の記入に関しては、事前に記入者との打合せを行う。

[19]

	①	②	③
a	GO	CO	治療
b	CO	GO	治療
c	GO	CO	受診
d	CO	GO	受診
e	CO	GO	精密検査

[20]

	④	⑤	⑥
a	疾病異常	歯周病	健康診断
b	疾病異常	歯周病	ブラッシング指導
c	問題のある部位	むし歯	ブラッシング指導
d	疾病異常	むし歯	ブラッシング指導
e	問題のある部位	むし歯	健康診断

[21]

	⑦	⑧	⑨
a	歯槽骨	少しでも	健康診断票
b	歯質	多数	保健調査票
c	歯質	多数	健康診断票
d	歯槽骨	少しでも	保健調査票
e	歯質	少しでも	健康診断票

第5問 次の1～3の問いに答えなさい。

1 次の（ ）の中の文は、『生きる力』を育む学校での歯・口の健康づくり 令和元年度改訂（公益財団法人 日本学校保健会） 第1章 総説 第3節 基本的な指導の考え方 1 学校における歯・口の健康づくり」の一部を抜粋したものである。文中の（ ① ）～（ ⑥ ）に当てはまる語句の正しい組み合わせを、下のa～eの中からそれぞれ一つ選びなさい。ただし、（ ）の同じ番号には同じ語句が入るものとする。

学校における歯科保健活動は、（ ① ）の一環として行われ、子供の生涯にわたる健康づくりの基盤を形成し、心身ともに健全な国民の（ ② ）を期す活動である。

学校における歯科保健活動は、子供の健康づくりに対する意識や行動の芽生えを、歯・口を題材として支援していくという性格をもっている。これまで、学校歯科保健活動は、歯・口という子供にとって理解しやすい（ ③ ）に富んだ題材として、健康（ ① ）を効果的に実践するため学校教育に位置付けられ展開されてきたところに高い評価が与えられている。

教育の実践活動として歯みがきの指導があったり、また活動の結果としてむし歯被患率の低下等がもたらされたりすることは事実である。しかし、大切なことは歯科保健活動を通じて、子供に健康とは何か、どのようにすれば健康の保持増進ができるかを、発達の段階に応じて自ら考え、実践できる能力を育むことにある。さらには、生涯にわたり（ ④ ）に生活するための習慣や態度の（ ② ）についても、歯・口を題材とすることを通して自ら学習する機会をつくることことができる。

このような教育の総体として、生涯にわたり（ ⑤ ）に健康や（ ④ ）の保持増進ができる国民の（ ② ）につながると考える。

すなわち、歯・口の健康づくりに関わる全ての保健活動は問題発見・解決型の学習として位置付けることが可能であり、各学校の教育目標の（ ⑥ ）あるいは教育課題の解決に効果をもたらすものと期待できる。

[ 22 ]

	①	②	③
a	管理活動	醸成	話題性
b	教育活動	育成	共通性
c	教育活動	醸成	話題性
d	管理活動	育成	話題性
e	教育活動	醸成	共通性

[ 23 ]

	④	⑤	⑥
a	安心	自主的	具現化
b	安心	自律的	具体化
c	安全	自主的	具体化
d	安全	自律的	具現化
e	安心	自主的	具体化

- 2 次の（ ）の中の文は、「興味をもって取り組める医薬品の教育 小・中・高等学校での実践事例集（平成31年3月 公益財団法人 日本学校保健会） 参考資料 知って得する医薬品の知識」の一部を抜粋したものである。文中の（ ① ）～（ ④ ）に当てはまる語句の正しい組み合わせを、下のa～eの中から一つ選びなさい。ただし、（ ）の同じ番号には同じ語句が入るものとする。

のんだらすぐ効く？

口から入った内服薬の多くは胃で溶け、（ ① ）で吸収されます。吸収された成分は、（ ② ）で一部分解（代謝）された後、（ ③ ）に入って全身に運ばれ、患部に達して作用を発揮します。また、内服薬には、胃では溶けずに（ ① ）で溶けて吸収される薬や（ ① ）でジワジワ溶けだして長い時間（ ④ ）が持続する医薬品もあります。したがって、医薬品をのんでもすぐに効果が現れるわけではありません。すぐに効かないからといってもあせらず、身体を休めて効果が現れるのを待ちましょう。

[ 24 ]

	①	②	③	④
a	十二指腸	腎臓	リンパ中	有効性
b	小腸	腎臓	リンパ中	有効性
c	小腸	肝臓	血液中	有効性
d	十二指腸	肝臓	リンパ中	副作用
e	十二指腸	肝臓	血液中	副作用

- 3 次の文は、「喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する指導参考資料令和3年度改訂高等学校編（公益財団法人 日本学校保健会）」において「薬物乱用、薬物依存、薬物中毒」について述べたものの一部である。これらの説明のうち誤っているものを、次のa～eの中からそれぞれ一つ選びなさい。

(1) 薬物乱用

[ 25 ]

- a 覚醒剤や大麻などの違法薬物の使用は、法に反しており、「乱用」である。
- b 未成年者の喫煙や飲酒も、法に反しており、「乱用」である。
- c 睡眠薬を「睡眠薬遊び」のために使うことは目的の逸脱であり、「乱用」である。
- d 「早く治りたい」という自己判断でのむ量を増やすことは使用法の逸脱であり、「乱用」である。
- e 2回以上であれば「乱用」である。

(2) 薬物依存

[ 26 ]

- a 薬物乱用の繰り返しの結果、その薬物の使用に対する自己コントロールを失った状態をいう。
- b 依存には「身体依存」と「精神依存」がある。
- c 「身体依存」とは、薬物が身体にあることが通常の状態になってしまった後、急にその薬物がなくなることにより「禁断症状（退薬症状ともいう）」が現れることである。
- d アルコール依存症者はアルコールを飲用中の「手指の振戦」（ふるえ）、「振戦せん妄」（けいれん発作、幻覚、生命を脅かす自律神経不安定状態など）がその典型像である。
- e 「精神依存」とは、薬効が切れてくると、その薬物をまた使いたいという「渴望」が湧いてきて、この「渴望」をコントロールできずに薬物を使ってしまう状態をいう。

(3) 薬物中毒

[ 27 ]

- a 薬物による健康被害のことを指し、「急性中毒」と「慢性中毒」に分けられる。
- b 「急性中毒」とは、「依存」者が、「乱用」することで陥る可能性のある一過性の病態である。
- c 急性中毒の典型的な例として、アルコールの「イッキ飲み」による意識障害などが挙げられる。
- d 「慢性中毒」とは、「依存」に陥っている人が、その薬物の使用をさらに繰り返すことによって生じる人体の慢性・持続性の異常状態のことである。
- e 依存に基づく飲酒による肝硬変、依存に基づく喫煙による肺癌は「慢性中毒」といえる。

kyosai-guild.jp



第6問 次の1～3の( )の中の文は、「教職員のための子どもの健康観察の方法と問題への対応（平成21年3月 文部科学省） 第6章 主な疾患等の解説 2 主な精神疾患等」の一部を抜粋したものである。下線部①～②について、その正誤の正しい組み合わせを、下のa～eの中からそれぞれ一つ選びなさい。

1 統合失調症

ア 基本概念  
 青年期に好発する代表的な精神病であり、幻覚や妄想が主な症状である。①約500人に1人という低い割合で発症する。②以前は治りにくい疾患と思われていたが、早期治療と適切なケアにより③3人に1人は治癒し、④完治すれば、復学できるケースも多い。

[ 28 ]

	①	②	③	④
a	誤	正	正	誤
b	正	正	誤	正
c	誤	正	誤	正
d	正	誤	正	誤
e	正	誤	正	正

2 心的外傷後ストレス障害（PTSD）

ウ 治療方針と関係者の対応  
 放置すると慢性化し、⑤身体面に大きな障害が現れるため、なるべく早期に児童精神科を受診する必要があるが、⑥本人の意志とトラウマへの過敏性に充分配慮することが重要である。（略）  
 周囲の対応としては、本人に大丈夫であるという⑦安心感を与えつつ、なるべく普通に穏やかに接することが重要である。また、だれでも怖い目に遭うと同様の症状が現れること、症状は必ず良くなることを伝えた上、⑧無理のないように学校を欠席させることが肝要である。

[ 29 ]

	⑤	⑥	⑦	⑧
a	誤	正	正	正
b	正	誤	誤	正
c	誤	正	正	誤
d	正	誤	正	正
e	正	誤	誤	誤

### 3 選択性緘黙

#### ウ 治療方針と関係者の対応

成長とともに自然に改善することを期待して放置すると、適切なコミュニケーションがとれず、不適応が拡大する可能性があるため、早期に⑨耳鼻科医の診療を受ける必要がある。薬による治療と心理療法（遊戯療法など）を組み合わせた治療を用いることが多い。

学校での対応は、⑩無理に話すことを強要せず、不安・緊張を和らげる配慮が大切である。本人が安心して過ごせる場所や時間をつくること、例えば子どもがいない放課後の教室を利用する、教員と1対1で過ごす時間を持つことなどで、不安や緊張が⑪高い場面に慣れることから始め、本人に自信をもたせること、⑫文書など口頭以外のコミュニケーションから出発して、少しずつ会話を増やすような取組が必要である。不登校となった場合、家族以外の人との関わりや学校に似た小集団（適応指導教室）に参加することで引きこもりを予防したり、保健室登校を足掛かりに学校復帰を目指したりするなど、本人の状態に応じた無理のない対応が望まれる。

[ 30 ]

	⑨	⑩	⑪	⑫
a	誤	正	正	誤
b	誤	正	誤	正
c	誤	誤	正	誤
d	正	誤	正	正
e	正	誤	誤	誤

第7問 次の1、2の問いに答えなさい。

1 「学校において予防すべき感染症の解説 令和5年度改訂（公益財団法人 日本学校保健会）」について、次の（1）～（3）の問いに答えなさい。

（1）次の（ ）の中の文は、「Ⅱ. 学校における感染症への対応 2. 学校における感染症への対応 1）学校において予防すべき感染症の考え方（第一種の感染症、第二種の感染症、第三種の感染症）」の一部を抜粋したものである。文中の（ ① ）～（ ⑥ ）に当てはまる語句の正しい組み合わせを、下のa～eの中からそれぞれ一つ選びなさい。ただし、（ ）の同じ番号には同じ語句が入るものとする。

各感染症の出席停止の期間は、感染様式と（ ① ）を考慮して、人から人への感染力を有する程度に病原体が排出されている期間を基準としている。感染症の拡大を防ぐためには、患者は、

- ・他人に容易に感染させる状態の期間は（ ② ）を避けるようにすること
- ・健康が回復するまで治療や（ ③ ）の時間を確保することが必要である。

なお、診断は、〔 ④ 〕が身体症状及びその他の検査結果等を総合して、医学的知見に基づいて行われるものであり、学校から特定の検査等の実施（例えば、インフルエンザ迅速診断検査やノロウイルス検査）を全てに一律に求める（ ⑤ ）。治癒の判断（治癒証明書等）も同様である。

また、全員の皆勤をクラス目標に掲げている等の理由で、体調がすぐれず、本来であれば（ ③ ）をとるべき児童生徒が出席するといったことがないよう、適切な指導が求められる。

さらに、児童生徒等及び保護者への当該感染症に対する指導を行い、症状があるのにも関わらず無理に登校させること等がないように（ ⑥ ）。

〔 31 〕

	①	②	③
a	環境要因	面会	安静
b	環境要因	面会	休養
c	疾患の特性	集団の場	安静
d	疾患の特性	面会	休養
e	疾患の特性	集団の場	休養

〔 32 〕

	④	⑤	⑥
a	専門医	必要はない	協力を得る
b	診察に当たった医師	必要はない	協力を得る
c	専門医	こともある	説得する
d	診察に当たった医師	こともある	説得する
e	診察に当たった医師	こともある	協力を得る

- (2) 次の ( ) の中の文は、「Ⅱ. 学校における感染症への対応 2. 学校における感染症への対応 1) 学校において予防すべき感染症の考え方 (第一種の感染症、第二種の感染症、第三種の感染症)」の一部を抜粋したものである。下線部①～⑥について、その正誤の正しい組み合わせを、下のa～eの中から一つ選びなさい。

第一種の感染症

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」(以下、「感染症法」という。)の一類感染症と①新型コロナウイルス感染症を除く二類感染症を規定している。出席停止の期間の基準は、「②感染のおそれがないと認めるまで」である。

第二種の感染症

空気感染又は③接触感染するもので、児童生徒等の罹患が多く、学校において流行を広げる可能性が高い感染症を規定している。出席停止の期間の基準は、④感染症ごとに個別に定められている。ただし、病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めたときは、この限りではない。

第三種の感染症

学校教育活動を通じ、学校において流行を広げる可能性がある感染症を規定している。出席停止期間の基準は、⑤治癒するまでである。

なお、学校で通常見られないような重大な流行が起こった場合には、その感染拡大を防ぐために、必要があるときに限り、校長が学校医の意見を聞き、第三種の感染症の「⑥その他の感染症」として緊急的に措置をとることができる。「⑥その他の感染症」として出席停止の指示をするかどうかは、感染症の種類や各地域、学校における感染症の発生・流行の態様等を考慮の上で判断する必要があり、あらかじめ特定の疾患を定められているものではない。

[ 33 ]

	①	②	③
a	誤	正	正
b	正	誤	正
c	誤	誤	誤
d	正	正	誤
e	誤	正	誤

[ 34 ]

	④	⑤	⑥
a	正	正	正
b	正	誤	正
c	誤	誤	誤
d	誤	正	正
e	正	正	誤

(3) 次の表は、「Ⅲ. 感染症各論 2. 第二種の感染症 7) 咽頭結膜熱」の一部を抜粋したものである。下線部①～⑥について、その正誤の正しい組み合わせを、下のa～eの中から一つ選びなさい。

病原体	①アデノウイルス
潜伏期間	②521日
感染経路・感染期間	飛沫感染、③空気感染。塩素消毒が不十分なプールでの目の結膜からの感染もある。ウイルス排出は初期数日が最も多いが、その後、便からは数か月排出が続くこともある。
症状・予後	高熱(39～40℃)、咽頭痛、④腹痛、食欲不振を訴え、これらの症状が37日間続く。咽頭発赤、頸部・後頭部リンパ節の腫脹と圧痛を認めることもある。眼の症状としては、⑤結膜充血、流涙、まぶしがる、眼脂(目やに)、耳前リンパ節腫脹等がある。
登校(園)基準	発熱、咽頭炎、結膜炎等の主要症状が⑥消退した後2日を経過するまで出席停止とする。

[ 35 ]

	①	②	③
a	正	誤	誤
b	誤	誤	正
c	誤	正	誤
d	正	誤	正
e	誤	正	正

[ 36 ]

	④	⑤	⑥
a	誤	正	誤
b	正	誤	正
c	正	正	誤
d	誤	誤	誤
e	誤	正	正

2 次の(1)、(2)の( )の中の文は、疾病についての説明である。文中の( ① )～( ④ )に当てはまる語句の正しい組み合わせを、下のa～eの中からそれぞれ一つ選びなさい。ただし、( )の同じ番号には同じ語句が入るものとする。

(1)「児童生徒等の健康診断マニュアル 平成27年度改訂(文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課監修 公益財団法人 日本学校保健会)」

オスグッド病  
 脛骨骨の下(脛骨結節)に疼痛と腫脹を生じる。その発生にはランニング、( ① )、キック、シュートなどの動作を伴うスポーツ活動が関係している。膝を伸ばす動作は、( ② )が収縮して、この部分を引っ張ることで起こる。この部分は成長期ではまだ( ③ )の部分が多くて弱いため、繰り返し引っ張られるために骨や( ③ )の一部が剥がれる。発症は概ね( ④ )である。初期なら短期間スポーツ活動を一部制限するだけで治るが、進むと一定期間の局所安静、さらに進むと装具療法やときには手術が必要になることもある。

[ 37 ]

	①	②	③	④
a	ウォキング	大腿内転筋	軟骨	15～18歳
b	ジャンプ	大腿内転筋	軟骨	15～18歳
c	ジャンプ	大腿内転筋	靭帯	10～14歳
d	ジャンプ	大腿四頭筋	軟骨	10～14歳
e	ウォキング	大腿四頭筋	靭帯	15～18歳

(2)「学校検尿のすべて 令和2年度改訂(公益財団法人 日本学校保健会)」

慢性糸球体腎炎  
 蛋白尿や( ① )、またはその両方が持続し、高血圧や腎機能の低下が( ② )進行する可能性がある病態である。初期は無症状で、最近では無症状の時期に学校検尿などで偶然発見されることが多くなっている。慢性糸球体腎炎を早期に発見し、治療を開始することは学校検尿の大きな目的の一つである。  
 蛋白尿が多い場合や高血圧、腎臓の働きの低下を認める場合は早期に( ③ )を行い、確定した診断結果により管理と治療を決定する。  
 慢性糸球体腎炎は、しっかり治療を受けることで治る場合が多くなっている。特に学校検尿で最も多く発見される( ④ )の予後は大きく改善している。病状について保護者と本人に十分に説明を行い、過剰な運動制限や食事制限により子供の成長・発達を不必要に妨げることのないようにする必要がある。

[ 38 ]

	①	②	③	④
a	糖尿	ゆるやかに	MR I検査	I g A腎症
b	血尿	ゆるやかに	腎生検	I g A腎症
c	糖尿	急速に	MR I検査	I g A腎症
d	血尿	ゆるやかに	MR I検査	膜性増殖性糸球体腎炎
e	糖尿	急速に	腎生検	膜性増殖性糸球体腎炎

第8問 次の1、2の問いに答えなさい。

1 次の表は、「学校環境衛生管理マニュアル『学校環境衛生基準』の理論と実践〔平成30年度改訂版〕（文部科学省）第Ⅱ章 学校環境衛生基準 第5 日常における環境衛生に係る学校環境衛生基準」の一部を抜粋したものである。下線部①～⑫について、その正誤の正しい組み合わせを、下のa～eの中からそれぞれ一つ選びなさい。

	検査項目	基準
教室等の環境	(1) 換気	(ア) 外部から教室に入ったとき、不快な刺激や①湿気がないこと。 (イ) 換気が適切に行われていること。
	(2) 温度	18℃以上、②30℃以下であることが望ましい。
	(3) 明るさとまぶしさ	(ア) 黒板面や机上等の文字、図形等がよく見える明るさがあること。 (イ) 黒板面、机上面及びその周辺に見え方を邪魔するまぶしさが ないこと。 (ウ) ③黒板面に光るような箇所がないこと。
	(4) 騒音	学習指導のための④グループでの話し合い等が聞き取りにくいことが ないこと。
飲料水等の水質及び施設・設備	(5) 飲料水の水質	(ア) 給水栓水については、遊離残留塩素が⑤0.1mg/L以上保持 されていること。ただし、水源が病原生物によって著しく汚染され るおそれのある場合には、遊離残留塩素が⑥1mg/L以上保持さ れていること。 (イ) 給水栓水については、外観、臭気、⑦味等に異常がないこと。 (ウ) 冷水器等飲料水を貯留する給水器具から供給されている水につ いても、給水栓水と同様に管理されていること。
	(6) 雑用水の水質	(略)
	(7) 飲料水等の施設・設備	(ア) 水飲み、洗口、手洗い場及び足洗い場並びにその周辺は、⑧排 水の状況がよく、清潔であり、その設備は破損や故障がないこ と。 (イ) 配管、給水栓、給水ポンプ、貯水槽及び浄化設備等の給水施 設・設備並びにその周辺は、清潔であること。
学校清潔及びネズミ、衛生害	(8) 学校の清潔	(ア) 教室、廊下等の施設及び机、いす、黒板等教室の備品等は、清潔 であり、破損がないこと。 (イ) 運動場、砂場等は、清潔であり、ごみや動物の⑨死亡個体等がな いこと。 (ウ) 便所の施設・設備は、清潔であり、破損や故障がないこと。 (エ) 排水溝及びその周辺は、泥や砂が堆積しておらず、⑩刺激臭がな いこと。 (オ) ⑪飼育動物の施設・設備は、清潔であり、破損がないこと。 (カ) ごみ集積場及び⑫ごみ容器等並びにその周辺は、清潔であるこ と。
	(9) ネズミ・衛生害虫等	(略)

虫等		
----	--	--

[ 39 ]

	①	②	③
a	正	誤	誤
b	誤	誤	誤
c	誤	正	正
d	正	正	誤
e	誤	誤	正

[ 40 ]

	④	⑤	⑥
a	誤	誤	正
b	正	誤	誤
c	誤	正	誤
d	正	正	誤
e	誤	正	正

[ 41 ]

	⑦	⑧	⑨
a	正	誤	誤
b	誤	誤	正
c	誤	正	正
d	正	正	誤
e	誤	誤	誤

[ 42 ]

	⑩	⑪	⑫
a	正	正	誤
b	誤	正	誤
c	誤	誤	正
d	誤	正	正
e	正	誤	正



2 次の（ ）の中の文は、「学校における薬品管理マニュアル 令和4年度改訂【追補版】（公益財団法人 日本学校保健会）」に示されている「学校内共通理解・保護者等説明資料（例）」の一部を抜粋したものである。下の（1）、（2）の問いに答えなさい。

1. 学校における【 】の取扱い

(1) 本校が預かることができる薬は、医師等が処方した【 】に限ります。症状に応じて使用の判断が必要な【 】を預かることはできません。

(2) 本校では教職員が児童生徒に【 】を使用することは行っておりません。ただし、保護者等から提出のあった書面に従って、緊急性が高いアレルギー症状があると判断した場合に、( A ) 注射液（エピペン®）、( B ) を起こした場合にジアゼパム（ダイアップ®）などの坐薬及びミダゾラム口腔用液（ブコラム®）を使用する場合があります。

(3) 【 】の使用の介助については、医師、歯科医師又は看護職員が、患者の状態が以下の3条件を満たしていることを確認し、教職員による【 】の介助ができることを本人又は家族に伝えている場合に、医師又は歯科医師の処方及び( C ) の服薬指導の上、教職員が行います。

〈【 】の使用の介助の3条件〉

- ① 患者が入院・入所して治療する必要がなく容態が安定していること
- ② 副作用の危険性や投薬量の調整等のため、医師又は看護職員による連続的な容態の経過観察が必要である場合ではないこと
- ③ 内用薬については( D ) の可能性、坐薬については肛門からの出血の可能性など、当該医薬品の使用の方法そのものについて専門的な配慮が必要な場合ではないこと

(1) 文中の( A )～( D )に当てはまる語句の正しい組み合わせを、下のa～eの中から一つ選びなさい。

[ 43 ]

	A	B	C	D
a	ノルアドレナリン	てんかん発作	学校薬剤師	誤嚥
b	アドレナリン	てんかん発作	薬剤師	誤嚥
c	ノルアドレナリン	心臓発作	薬剤師	嘔気
d	アドレナリン	心臓発作	学校薬剤師	誤嚥
e	ノルアドレナリン	てんかん発作	学校薬剤師	嘔気

(2) 文中の【 】に当てはまる語句として最も適切なものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

[ 44 ]

- a 一般用医薬品
- b 要指導医薬品
- c 医療用医薬品
- d 医薬部外品
- e 化粧品

第9問 次の1、2の問いに答えなさい。

1 次の( )の中の文は、「教職員のための子供の健康相談及び保健指導の手引令和3年度改訂(公益財団法人 日本学校保健会)」において示された、「第5章 健康相談及び保健指導事例」の一部を抜粋したものである。次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1) 文中の( ① )～( ⑨ )に当てはまる語句の正しい組み合わせを、下のa～eの中からそれぞれ一つ選びなさい。ただし、( )の同じ番号には同じ語句が入るものとする。

事例の概要：中学2年生女子。夏休み明けに頭痛や腹痛を訴え来室するようになったが、問診から身体の異常はないと考えられた。教室に促しても休憩したい様子があるため1時間休養させ、雑談をして教室にもどっていた。勉強や運動が得意で生徒会役員をしており、友達関係も良好であるため、課題を抱えているようには感じられなかった。しかし、次第に体調不良から来室することが増えていった。

#### 支援方針・支援経過

- ・本人が休憩したい時は( ① )という対応をするうちに、生徒会でのできごとや交際相手のことを話すようになった。
- ・10月に養護教諭が、保健室内の誰でも自由に取ることができる【 】の相談窓口カードを見ていることに気付いた。来室時に、悩みがあると体調不調になることを伝え、「もし悩みがあるなら、私でよければ話してほしい」と伝えると、しばらく沈黙の後、「自分は【 】ではないかと思う」「学校で男女別に整列する時にひどく( ② )があり、体育の更衣が気になる。小学生の時はスカトをはいたことがなく、制服を着ることが苦痛でたまらない。校内は( ③ )で過ごしてもよい学校があると聞き転校も考えたが、友達と離れたくない。学校にある図書館で【 】の本を見付けて、理解してくれる人はいるのかなと思った。保健室にもカードがあって、先生ならわかってくれるのかなと思ったが、なかなか言い出せなかった」と泣きながら話した。(略)
- ・本人のつらさに寄り添い、( ④ )し、言いにくいことを話してくれたこと、これまで長く苦しんできたことをねぎらい、( ⑤ )学校生活を一緒に考えるようにした。学級担任にも一緒に考えてもらった方がよいことを伝え、本人の承諾を得て、学級担任と養護教諭、本人で面談をした。( ② )のある場面を具体的に聞き取り、改善策を一緒に考えた。その結果、学年部と生徒指導部で協議し、保健室内トイレを利用し、更衣室は別室を認めた。( ③ )登校を勧めたが、「どう思われるか心配だから嫌」と話す。「友達の男と女を決めつけた発言で傷つく」というため、学級担任は学年部の( ⑥ )担当者と道徳科担当者に相談し、学年部で道徳科の【 】の指導案を検討し、より丁寧に扱うようにした。
- ・その後、本人が母親に打ち明け、学級担任、養護教諭、母親で面談し、上記の対応について承諾を得た。
- ・生徒指導部会で、学年部の生徒指導担当者が経過を報告し、不必要に男女別の整列や区別をしないことを確認するとともに、養護教諭は本人の長年の苦しみの深さを説明した。( ⑦ )から、( ⑥ )担当者を中心に講師を招へいして【 】の理解と対応に関する教職員研修の実施、( ⑧ )に相談しつつ、制服のジェンダレス化の検討の方向性が示された。
- ・その後、本人は困った時は学級担任に相談するようになり、学級担任と配慮の方法を一緒に考えるようになった。来室時に養護教諭に「先生が気持ちをわかってくれたこと、更衣室とトイレだけでも気持ち楽になった。制服には抵抗感があるが、先生と友達のことは好きなので転校は考えず、この学校で卒業したい」と話した。養護教諭は「【 】に関する理解・配慮について、ゆっくりではあるが社会は変わっている。あなたが大人になる頃には、もっと進んでいるといいよね」と話した。「何かあったら、また相談してね」と伝え、今後は修学旅行で( ⑨ )などの心配なことについて話す予定である。

[ 45 ]

	①	②	③
a	休養させる	違和感	体操服
b	話をさせる	違和感	私服
c	話をさせる	恐怖感	体操服
d	休養させる	恐怖感	私服
e	休養させる	違和感	私服

[ 46 ]

	④	⑤	⑥
a	助言	過ごしやすい	保健教育
b	傾聴	楽しい	人権教育
c	傾聴	楽しい	保健教育
d	助言	楽しい	人権教育
e	傾聴	過ごしやすい	人権教育

[ 47 ]

	⑦	⑧	⑨
a	教育委員会	学校医	入浴
b	管理職	教育委員会	服薬
c	教育委員会	学校医	服薬
d	管理職	教育委員会	入浴
e	管理職	学校医	入浴

(2) 文中の【 】に当てはまる語句として最も適切なものを、下のa~eの中から一つ選びなさい。

[ 48 ]

- a 性的マイノリティ
- b 発達障害
- c 双極性障害
- d うつ病
- e 思春期早発症

2 次の ( ) の中の文は、「保健室経営計画作成の手引 平成26年度改訂(公益財団法人 日本学校保健会)」において示された、「3 保健室経営計画の作成 (3) 保健室経営計画作成手順(様式例と作成のポイント)」の中の「保健室経営目標達成のための具体的な方策」の一部を抜粋したものである。文中の( ① ) ~ ( ⑥ ) に当てはまる語句の正しい組み合わせを、下のa~eの中からそれぞれ一つ選びなさい。

\*保健室経営の目標達成のためにその年度、( ① ) に取り組む具体的な手立てを記載する。  
 \*実施後、自己評価・( ② ) をする際の指標となるよう、評価の観点を記載する。  
 [作成に当たっての留意点]  
 ◇保健室の( ③ ) を十分考慮する。  
 ◇各目標に対し、養護教諭としての取組事項を記載する。  
 ◇「保健管理・保健教育・健康相談・保健室経営・( ④ )」の枠組みに沿って整理するとわかりやすい。  
 (5項目全てを書き込むという意味ではない。)  
 ◇保健室経営計画は、(中略)( ⑤ ) に実施できる範囲で、何を行うかがわかるように具体的に記入する。  
 ◇養護教諭の役割や、教職員及び関係者との( ⑥ ) における評価の観点を明確にしておく。

[ 49 ]

	①	②	③
a	積極的	他者評価	備品
b	積極的	他者評価	機能
c	重点的	第三者評価	備品
d	積極的	第三者評価	機能
e	重点的	他者評価	機能

[ 50 ]

	④	⑤	⑥
a	保健組織活動	1年間	連携
b	学校保健委員会	1年間	協力
c	保健組織活動	3年間	連携
d	学校保健委員会	3年間	協力
e	学校保健委員会	3年間	連携

解答一覧表（養護教諭）

解答番号	正答	解答番号	正答	解答番号	正答
1	b	21	c	41	d
2	d	22	b	42	d
3	a	23	d	43	b
4	c	24	c	44	c
5	e	25	e	45	a
6	a	26	d	46	e
7	b	27	b	47	d
8	d	28	a	48	a
9	c	29	c	49	e
10	d	30	b	50	a
11	e	31	e	51	
12	a	32	b	52	
13	b	33	c	53	
14	e	34	b	54	
15	c	35	a	55	
16	a	36	e	56	
17	c	37	d	57	
18	b	38	b	58	
19	d	39	e	59	
20	e	40	c	60	